

北 建 土 号
平成 20 年 10 月 10 日

国土交通省道路局長 様

北海道 北竜町長 西 野 陽 一

今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙により提出しますのでよろしくお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①
北海道 北竜町

◎ 補助制度、交付金事業制度の見直し

過疎化による人口減や農家の離農等により、整備を実施したくても費用対効果等の問題もある。

また、自治体の財政状況が厳しいなか、道路構造令の基準を緩和した、地域の実情にあった制度の新設又は改訂を願う。

◎ 維持補修に対する補助、交付金制度の新設

積雪地帯における自治体の除排雪費の占める割合は大きく、安心、安全な道路の確保を図るためにも補助、交付金制度の新設を願う。

また、橋梁の長寿命化対策についても深刻な問題である。

◎ 道路財源の確保

上記に述べましたが、現在の補助制度での道路整備等は財政的にかなり困難であり、自治体の地域性、自主性を考慮した制度の新設には、道路財源の確保が是非必要と考える。

◎ 無駄の排除

○ 現 状

本町は、農業を基幹産業とした純農村地帯の中、「ひまわり里」「サンフラワーパーク北竜温泉」の一角を観光・レクリエーションのゾーンとし、まちづくりを進めている。

道路網は、高規格幹線道路深川留萌道及び国道275、233号それらに連絡する道道増毛稲田線、一般道道3路線、町道121路線 総計136kmである。

◎高規格幹線深川留萌自動車道は、現在、留萌幌糠ICまで整備されている。

◎国道及び道道は、ほぼ整備はされているが、歩道等の損傷や冬期間の地吹雪により視界の不良が発生安全性に問題が起きている。

◎町道については、整備後30数年経過の路線は道路の凹凸や亀裂など損傷が著しく、橋梁についても老朽化が目立つ。また、冬期間の除雪費の占める割合も多く近年の燃料の高騰に苦慮している。

○ 課 題

◎物流輸送の効率化、医療体制に充実化、観光客の増等地方と都市との結びつきをより一層強めるため、留萌市街地までの早期完成が望まれる。

◎車両における事故はもとより、歩行者の安全性も懸念されるため、歩道の造成、拡幅、防護策の整備が必要である。

◎二次改築の必要性が高まっている中、過疎化が進み離農する農家も多くなっている。整備を必要とする路線には費用対効果もあがらず現在の補助制度では、採択基準に満たない路線がおおい。併せて逼迫する自治体の財政に道路財源は必要であり小規模自治体でも活用できる制度や道路構造令、費用対効果の見直し等地域性を考慮した制度が望まれる。また、維持補修に対する補助制度が必要とされる。

今後の道路行政についての意見
②ー２ 地域の目指すべき将来像

様式 ③
北海道 北竜町

財政状況が厳しい中で、急速に進む少子高齢化や人口減少への対応や基幹産業である農業をはじめとする産業や観光などの維持発展が緊急の課題となっている。

こうした動向に的確に対応するとともに次代に誇りを持ってつないでいく北竜町を築いていく。

(道路に関連する主要な事項)

広域的アクセスの一層の向上と町全体の発展可能性の拡大に向け、高規格幹線道路深川・留萌自動車道の早期全線開通、国道２３３号・２７５号、主要道同増毛稲田線をはじめとする国・北海道の整備を積極的に働きかけるとともに、町道及び橋梁の整備及び維持管理の計画的推進、除雪体制の充実に努め「より快適な」「より安心な」まちづくりを目指す。

後の道路行政についての意見・提案
道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 4
北海道 北竜町

・ 地域活力の向上	サンフラワーパーク北竜温泉～ひまわりの里間道路整備事業	一帯は北竜温泉・パークゴルフ場・イチイの森・ひまわりの里・スポーツ公園など観光・レクリエーションのゾーンとして位置づけしており地域内の道路及び歩道を整備することにより住民はもとより観光客の安全も確保される。	国道275号景観地設置事業 損傷の激しい町道の整備
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国道275号・233号防雪柵の設置	田園地帯であり、冬期間は地吹雪で視界不良の日がおおい。 車両の事故の減少とともに安全な生徒たちの通学体制が整う。	町道の歩道整備 橋梁長寿命化整備 除雪体制の充実
・ 国際競争力の強化のための交通サービスの向上	高規格幹線道路深川・留萌自動車道の早期完成	物流輸送の効率化、医療体制の充実化、観光客の増等地方と都市の結びつきをより一層強める。	